

バス旅行のお知らせ

例年行なわれて来ましたバスでの小旅行。今年も青葉と共にその時期が訪れました。サア皆さん春の海、江の島へ行きましょう。

記

- 一、日時 六月七日(日) 雨天中止
- 二、目的地 江の島・鎌倉
- 三、費用 会員200円
その他300円
- 四、集合 新宿駅西口 安田生命前八時半 反田駅前八時三十分
- 五、解散 安田生命前十七時
- 六、申込方法 五月三〇日までに住所・氏名・支部・集合地の希望付添の有無を書いてハガキで本部事務局へ申し込んで下さい。
- 七、参加希望者多数の場合は期日内に打ち切らせて頂きます。参加の方はこちらで連絡します。
- 八、付添人の要る方で、都合で付添人がつかないため行かれないという方、どちらで探しますからご一報下さい。

4 29. 0869
此度左記の様に局番が変りましたのでおしらせします。

事務局局番変更おしらせ

新入会員	
新井 祥一	茨城県新治郡川島村大字岩坪557
荒井 千勝	" 士浦市真鶴町東885
小野 初江	埼玉県川市杉下町812
小野恵美子	茨城県土浦市木田余町1359
大関 一夫	" 新治郡千代田村五反田230
大島 広予	" 士浦市小菅町
大西せつ子	千葉県市川市菅野町6-2025
大崎 松寿	練馬区谷原町2-1798
栗村 美実	品川区大井金子町5899
小泉 嘉孝	杉並区堀ノ内1-75
作田 正典	埼玉県入間郡武蔵町黒須1100
発行所	杉山千鶴子 清次 一次 昌子 中島 舟川 菊興 節子 本多 町井 山本 清子 吉田美知子 米山 光一
編集責任者	千葉県館山市新井1224 埼玉県北足立郡戸田町下戸田3150 茨城県筑波郡谷田部町島名2678 神奈川県中部大磯町国府本郷674 長野県下伊那郡松川町上新井1538 茨城県新治郡千代田村中志筑 千葉県習志野市鷺沼町8-1965 茨城県土浦市川口874
印刷刷	新井 千鶴子 富田 豊島 中島 舟川 本多 町井 山本 清子 吉田美知子 米山 光一
三誠社	新井 千鶴子 富田 豊島 中島 舟川 本多 町井 山本 清子 吉田美知子 米山 光一
三三一九四〇九	新井 千鶴子 富田 豊島 中島 舟川 本多 町井 山本 清子 吉田美知子 米山 光一

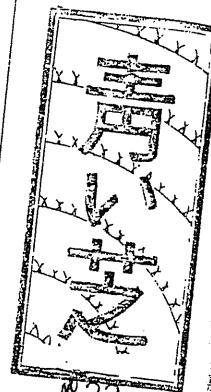
者	住所
委員	台東区三ノ輪町18
高西方	荒川区日暮里5-646
高西方	大田丁西桃谷町4-7-18
高西方	茨城県石岡局区内 閑居山
高西方	新宿区戸塚町3-231
高西方	大田区羽田本町2-8-4
高西方	" 南蒲田2-3-8
高西方	" 西桃谷町3-6-16
高西方	新宿区天神町81 富山荘内
高西方	三鷹市新川南台621
高西方	都営アパート11号棟6号室
高西方	神奈川県戸塚区中田町512 晓荘
高西方	(かよ) 三鷹市下蓮雀
高西方	練馬区仲町6-70
高西方	江戸川区東篠崎30-4 7棟の3

-10-

編集後記

新年度始めての会報なので、大会を中心にして編集を進めました。当日の議事録は専門家の阿部さんと柳下君に書記して頂きましたが、経費の関係で要約掲載しました。新役員の紹介は新しく代つた者だけにしました。又中村が広報を担当しましたので、皆さんの原稿と御意見や御感想をお寄せ下さい。御協力をお願い致します。

尚、次回は五月三日(日)で切りです。



39.7.10

支部例会に思う

事務局長 石橋玲一

すでに七月半、三十九年度も早や三ヶ月余

間が経ちました。この間外的には心身障

患者の協会の結成、國立身体障害者再生

指導所への要求運動、身延協の活発化、内部

保護所問題(以上いずれも別府別府)

流れの中でもこゝとして多々の変動がおこって

いました。勿論こうした動きの一つ一つは会員の皆さ

がからも知れません。記述のことがらを中心とした青い芝の活動

がんばら見れば個人の生活に關係のないこと

がんばら見れば個人の生活に關係のないこと

会の活動から遠去ることはよりもなおさず

青い芝の幸福への道を只遅らすのみにすぎません。

会が会員に何かを為すと云うのではなく、会の活動はうまく運びません。

単的に云えど先づそれは会員諸君が一人で会員が会を運営して行くのでなければ、会の活動はうまく運びません。

会員が会を運営して行くことから始まります。むろん例会の集まりの悪さは支部員諸君側はもとより、各役員諸君の方に責任があると云えます。

如何すれば重度の方々を含めて出席者を多くし、組織に対する認識を植えつけるか、且つそれを何如すれば維持し、会の運営に反映

するか、考えれば考えるほど多くの問題が生じて来ることでしょう。

我々直接執行に当る役員はもとより、各役員諸君の会員に対する責任があると云えます。

如何すれば重度の方々を含めて出席者を多くし、組織に対する認識を植えつけるか、且つそれを何如すれば維持し、会の運営に反映

するか、考えれば考えるほど多くの問題が生じて来ることでしょう。

我々直接執行に当る役員はもとより、各役員諸君の会員に対する責任があると云えます。

如何すれば重度の方々を含めて出席者を多くし、組織に対する認識を植えつけるか、且つそれを何如すれば維持し、会の運営に反映

するか、考えれば考えるほど多くの問題が生じて来ることでしょう。

-1-

別府保養所

問題

去る四月、本会更生相談部長の高垣氏が広島の「ひかりの会」総会に出席し、「何か思ひもよらぬことを云つて来たのだが、其所に別府保養所に入所している木村浩子さんといふ人が来ていて、その数日後、彼女は高垣氏のその言葉をよって千葉の勝浦まで、途中三日間何も飲まず食わずで（彼女は足で食事をし一人で用便に行けないため）逃げ出して来たのであった。

彼女が保養所を逃げ出して来たのはその入所者の扱いがあまりにひどいからであるが、彼女の云い分の二、三を上ると次の通りである。

一、定められた時間内に食事をしてしまわなければ食べかけでも下げられてしまい、又定例外に用便をさせてもらえない。

二、火災予防を理由に部屋のぞき窓がないで常に監視されているよう気が休まらない。

外部との接触がきらわれ、外出の自由がない（彼女は「ひかりの会」総会に出たので、おじさんが死んだと云つてようやく外出許可をもらった。）

この事を聞いた我々は驚きされるとともに

えん所させておきたいためではないか。伯父の立場になれば自分でもそう書くかも知れない。その手紙は極めて疑問的なものではない。

青い芝「園立保養所としては最終的なものか。」

談が行なわれた折、具体的な事例として本会員からこの問題が持ち出され、代議士も捨て置かれていた。

この段階では何ら問題解決の方向へ動いてはいないが、この事件が厚生省及び保養所などヨックを与えたことは確かである。この問題は一人の人間が引き起したことであらが、身障者全体にも深い關係のある問題であつて、皆さんにもいろいろと考えてほしいと思う。

（山北記）

自民党及び厚生省との意見

厚生省から本会へなされた回

この厚生省の回答はほとんど我々の想像しない通りで、結果的には水かけ論に終り、

この段階では何ら問題解決の方向へ動いてはいないが、この事件が厚生省及び保養所などヨックを与えたことは確かである。この問題は一人の人間が引き起したことであらが、身障者全体にも深い關係のある問題であつて、皆さんにもいろいろと考えてほしいと思う。

皆さんにもいろいろと考えてほしいと思う。

厚生省から本会へなされた回

この厚生省の回答はほとんど我々の想像しない通りで、結果的には水かけ論に終り、

この段階では何ら問題解決の方向へ動いてはいないが、この事件が厚生省及び保養所などヨックを与えたことは確かである。この問題は一人の人間が引き起したことであらが、身障者全体にも深い關係のある問題であつて、皆さんにもいろいろと考えてほしいと思う。

（山北記）

元入所者より

厚生省「自分で出来る用便を禁じたのは、厚生省の規準によつて入所者を等級に分けて扱つているのだ。」

青い芝「その等級判定は何を基準にして行われるのか。」

厚生省「医者、ケースワーカー、心理判定員等で、この他彼女はいろいろ不満を述べている。」

青い芝「その三者判定については総合的に誤りがあるのではないか。」

厚生省「等級に依つて保養度が異つて、そのやり方には間違つていい。」

青い芝「國立別府伊東の二ヵ所しかないのだ。」

青い芝「自分で出来ることあるさ」と文句が出ていてる。」

厚生省「所の規準によつて入所者を等級に分けて扱つているのだ。」

青い芝「その三者判定については総合的に誤りがあるのではないか。」

厚生省「等級に依つて保養度が異つて、そのやり方には間違つていい。」

青い芝「自分で出来ることあるさ」と文句が出ていてる。」

C・P者と収容施設

先日（週刊誌）と新聞を読んでもらい別府保養所の元入所者として（昭和二十一年十月一日より三十六年四月二十日迄、西脇失明）

青い芝「國立身障センターで重症者を拒否しているがそれをどう考えるのか。」

厚生省「そのような事実はないと思う。」

青い芝「民衆の問題である。」

厚生省「治る者は早く治すべきだと思つ。」

青い芝「本当に困っているものは何処へ行けばいいのか。」

厚生省「それは國立身障センターに限らず各

「病氣の場合の件。病人の場合は医師が看護婦に注射や投薬の事を、いろいろとさせているのを処置室で聞いて居ります。家庭

青い芝「排泄も一日一回」ということだが、それからある者がタイプを希望したところ断わられたがこの事實をどう受け取っているのか。」

厚生省「別府には介護者が七名いる。排泄の行為を行きたいたいと思う。」

青い芝「伯父は彼女を手許に引き取るとそれだけ自分の負担になるからなるべく保養所

に、重複身障者の人間性を無視したそのやり方に慣を感じたのであつたが、その後たまたま自身退院で自民党代議士と厚生省との三者会談が行なわれた折、具体的な事例として本会員からこの問題が持ち出され、代議士も捨

ておけない問題としてその場で厚生省へ調査を命じた。そして、後に記されたような回答が厚生省から本会へなされた回

この厚生省の回答はほとんど我々の想像しない通りで、結果的には水かけ論に終り、

この段階では何ら問題解決の方向へ動いてはいないが、この事件が厚生省及び保養所などヨックを与えたことは確かである。この問題は一人の人間が引き起したことであらが、身障者全体にも深い關係のある問題であつて、皆さんにもいろいろと考えてほしいと思う。

（山北記）

元入所者より

厚生省「自分で出来る用便を禁じたのは、厚生省の規準によつて入所者を等級に分けて扱つているのだ。」

青い芝「その三者判定については総合的に誤りがあるのではないか。」

厚生省「等級に依つて保養度が異つて、そのやり方には間違つていい。」

青い芝「自分で出来ることあるさ」と文句が出ていてる。」

厚生省「所の規準によつて入所者を等級に分けて扱つているのだ。」

青い芝「その三者判定については総合的に誤りがあるのではないか。」

それが木村浩子君でした。木村君は重慶なり

天国であると言ふ事の異口同音に云つて居りました。

しかし集団ではこの様な事を

出来ましたが他の動作は飯を食べる事は左足で

出来なかつたのです。小生の家で着がえや、トイレが一人で出来る様になつたのですか施設に居る時にはその様な動作は自分がやりた

くてもやらせて呉れなかつた様です。それは施設に入所する時に判定がおこなわれ日常生活

作の出来る者、不可能な者と言う様に別けら

れるのですが木村君の場合は不可能な者の方に入れられ自分で事を止められたのです。

又字をかくのも左足でするため自分でタイプを買ひ施設内でつかおうとしたら勝手に持つんだと言う理由で使用を禁じられました事

もあつた様です。とにかく施設では人間として生で行かれないので、特に指導課長等は「貴方

方は形も体も悪いこの施設以外では生で行けないのでだからこの判内で幸を見付けて呉れ」と常々云つて居ると言つのです。小生六月七日にその施設に行きました東京より二時間、いやはや長いのは小生いささか汽

車にのりあきた頃とう着しました。小生施設に行きました所施設の方では防戦準備万全とし全く整えて待つて居りました。施設の入所者は九十五名内〇P者は六、七名居りましたが

重慶の障害者(〇P)者は居なくして〇Pの入所者は中程度の者で他は脊損、脊髓炎後遺症等で入所者が来ましたら可様に答えると云う

事で小生が来ました。木村君の問題は全體木村個人が悪い、木村が我々で

動き出した身連協

社会活動部長 篠崎 健次

◇ 仲よく気持よく

昨年十一月に発会式を挙げた身連協は、発足早々に、劇団「さんし座」の好意ある御協力により、慈善興行を無事に済ませ、その後幹事会を開いては、意見を交す集りを行って来ました。

参加団体は「青い芝」の会、芦の会、偕生会、柏会、更友会、しのめ会、友愛会で、幹事会を二三回開いては、意見を交す集りを行つて来ました。

幹事会は各団体を代表する幹事十数名から成り、当会から山北 厚、篠崎健次、山口 豊の三名が幹事として出ており、山北は副会長、篠崎は事務局長です。

幹事会は幹事ばかりでなく、各団体の会員も自由に出席して発言ができます。

は大抵よく、非常に和やかな中に活氣があり、打ちとけた中に幹事が進められて行きます。

もともと身連協は、身障者団体が手を取り合

い芝の運動が果した、一つの収穫といつてよいでしょう。またこのようまとまりをみせる方向に進めたものに、福島(國立身障

センター女子寮舎監)長島(身連協相談役)西先生の御尽力を見逃すことなどありません。

が、身連協は相手に知らすのを

オーバーとしたので仕方がなかつた所もあります。

川崎支部報告

四月例会 出席天野、前田、成田、山岸、小山、遠藤

講題 一會費の件(支部会計が窮乏の為)

イ会員から ロ賛助員から 役員の負担

ニ月額三十円年額三百五十円として払つて

会員よりあつめる

三レクリエーション、会員の希望により

イ七月上旬 日曜 ロ江ノ島 鎌倉 八車

出席遠藤、小山、天野、前田、林(母)、

江口、本部より芝、土浦から一名出席

二目標二十名 集合所川崎駅前

五月例会 三十一日川崎図書館(一時)

出席遠藤、小山、天野、前田、林(母)、

江口、本部より芝、土浦から一名出席

二会場の件

以上のところが出来たので会員にアンケートを取つて決める

三会場の件

差當つて図書館を借り、経費は出席した

有志が五十円位づ負担する。

議題 一レクリエーションの江ノ島、鎌倉は

本部と重複するので中止、その代りに、

三ツ池、山下公園、井之頭公園、平和島

以上のところが出来たので会員にアンケートを取つて決める

四時に終つた

六月の例会 出席 小山、遠藤、高橋

議題 一会場は川崎公民館に定まる、月一回

オ三か、オ四日曜に例会を行う。

二バス旅行は七月では暑いので九月行う。

三支部会報は関係でおくれたが、来月か

ら集める

六月九日に更生課に向けての陳情は、更生課と在所生有志を中核として参加人員は百名

を越え、まさに画期的な壮舉でした。交渉は二時間に及び、初め今野課長以下は辞田氏と

二同じこときつていましましたか、論議を重ねる

うちに、良しあつて、セントラルの主張を幾分理解し、代議士

到での歩み寄りはまつた。この問題は全身

障者に重大な関係をもつて、注意深くゆく

様な動きを処理しながら、まとまった力

を見守つて行くことが大切です。

になつて行くのが、身連協の動きと申せまし

役員会報告

五月一〇日 出席一山北、和田、磯部、石橋

芝、星野、篠崎、高垣、中村、山口、沢井

○事務局より総会後についた主な事の報告。

一、四月二一日に身連協で行なった自民党代表議士と厚生省側との三者会談(山北、篠崎、和田が参加)。二、四月二十五日に本会援助のため京都女子大同窓会主催「国際親和パーティ」があり芝が代表で出席。

三、レクリエーションはバスの都合で実施期日を六月七日に変更。

○身連協報告(篠崎)一三者会談を行なったがこのようないい事は身連協としては初の事なので身連協の十一要望項目の説明と意見交換で終った(別記詳報)。尚、その席上本会の和田が別府保養所の問題(別記)を発言し、その事について代議士が厚生省へ調査を命じた。

○身連協三者会談に於る和田発言から派生した問題一事務局より、身連協三者会談直後に厚生省から別府保養所問題について問い合わせがあり、一昨日自民党からその事で本会へ回答した。しかし十三日に三名起来てほしいとの連絡があった旨報告。この問題について討議。

高垣一この問題はこれらでもっとよく調査してから持ち出すべきだったが持ち出してしまった以上引っ込むわけに行かない。向うの出方によつては喧嘩になつてしまふ。結局水か

身障者施設についてと雇用促進法を実効あるようにするよう社労委の民社党議員に申し入れた(詳細別記)。

問題については更友会(センター同窓会)の要請により本会ではがき陳情を誌力することにして六月七日のバス旅行ではがき二百枚を配布。五月十三日には別府

保養所問題について自民党本部に於いて厚生省から本会へ回答があった(別記)。

以上の報告に関連質疑、磯部一六月九日

していす役員も数名しき来ていなかつたが、この陳情に対する本会の態度について事務局長をお尋ねしたい。

石橋一センター医療問題は決して我々と無縁の問題ではないので本会でも金額的

に支援することにして、七日のバス旅行でハガキを配ると同時に陳情の事を伝えた

篠情に出る人間と層が違うといふ事があ

り、また経済成長のお蔭で会員に寄せる事が出来ず、そんなこんなで人數を勤員できなかつた。

○身障者取扱施設の問題について別府保養所問題(木村浩子の問題)で

右橋一折角こういう繋りができるのだから喧

嘸分れしないでその繋りを保つて我々の問題を取り上げさせるように働きかけるようにすべきだ。

○他の多くの意見が述べられたが結論として、(一)会見代表者は和田、高垣、石橋、芝、星野、篠崎、高垣、中村、山口、沢井とし山北、磯部、山口が傍聴という形で参加。

(二)問題の本人を同行する。(三)会談を今後も継続させるようにする。

○茨城の収容施設(施設)について

石橋一茨城で個人で身障者の収容施設所を始めた所があり現在四人収容(二人は本会会員)し、食費一人月三五〇円でトワ椅子作りを

やつて居り自下入所者を募集しているが、そ

こを本会で利用することが出来ないだろうか。

○今年度活動方針の具体策について

高垣一前の問題とも関連するが、本会と東京くるめ園ともと密接に提携したらしい

話があり、又本会にその気があれば柄木の土地を提供してもよいという話もあるし、それ

てから持ち出すべきだったが持ち出してしまった以上引っ込むわけに行かない。向うの出方によつては喧嘩になつてしまふ。結局水か

身障者施設についてと雇用促進法を実効あるようにするよう社労委の民社党議員に申し入れた(詳細別記)。

問題については更友会(センター同窓会)の要請により本会ではがき陳情を誌力することにして六月七日のバス旅行ではがき二百枚を配布。五月十三日には別府

保養所問題について自民党本部に於いて厚生省から本会へ回答があった(別記)。

以上の報告に関連質疑、磯部一六月九日

していす役員も数名しき来ていなかつたが、この陳情に対する本会の態度について事務局長をお尋ねしたい。

石橋一センター医療問題は決して我々と無縁の問題ではないので本会でも金額的

に支援することにして、七日のバス旅行でハガキを配ると同時に陳情の事を伝えた

篠情に出る人間と層が違うといふ事があ

り、また経済成長のお蔭で会員に寄せる事が出来ず、そんなこんなで人數を勤員できなかつた。

○身障者取扱施設の問題について別府保養所問題(木村浩子の問題)で

のだからもうそちらの方へ手を出しても良いだろ。それにこればかり設立方針にも合致する。

以上の結果、施設經營に積極的に取り組んで、(一)会見代表者は和田、高垣、石橋、芝、星野、篠崎、高垣、中村、山口、沢井とし山北、磯部、山口が傍聴という形で参加。

(二)問題の本人を同行する。(三)会談を今後も継続させるようにする。

○茨城の収容施設(施設)について

石橋一茨城で個人で身障者の収容施設所を始めた所があり現在四人収容(二人は本会会員)し、食費一人月三五〇円でトワ椅子作りを

やつて居り自下入所者を募集しているが、そ

こを本会で利用することが出来ないだろうか。

○今年度活動方針の具体策について

高垣一前の問題とも関連するが、本会と東京くるめ園ともと密接に提携したらしい

話があり、又本会にその気があれば柄木の土地を提供してもよいという話もあるし、それ

てから持ち出すべきだったが持ち出してしまった以上引っ込むわけに行かない。向うの出方によつては喧嘩になつてしまふ。結局水か

身障者施設についてと雇用促進法を実効あるようにするよう社労委の民社党議員に申し入れた(詳細別記)。

問題については更友会(センター同窓会)の要請により本会ではがき陳情を誌力することにして六月七日のバス旅行ではがき二百枚を配布。五月十三日には別府

保養所問題について自民党本部に於いて厚生省から本会へ回答があった(別記)。

以上の報告に関連質疑、磯部一六月九日

していす役員も数名しき来ていなかつたが、この陳情に対する本会の態度について事務局長をお尋ねしたい。

石橋一センター医療問題は決して我々と無縁の問題ではないので本会でも金額的

に支援することにして、七日のバス旅行でハガキを配ると同時に陳情の事を伝えた

篠情に出る人間と層が違うといふ事があ

り、また経済成長のお蔭で会員に寄せる事が出来ず、そんなこんなで人數を勤員できなかつた。

○身障者取扱施設の問題について別府保養所問題(木村浩子の問題)で

(山北)

のだからもうそちらの方へ手を出しても良いだろ。それにこればかり設立方針にも合致する。

以上の結果、施設經營に積極的に取り組んで、(一)会見代表者は和田、高垣、石橋、芝、星野、篠崎、高垣、中村、山口、沢井とし山北、磯部、山口が傍聴という形で参加。

(二)問題の本人を同行する。(三)会談を今後も継続させるようにする。

○茨城の収容施設(施設)について

石橋一茨城で個人で身障者の収容施設所を始めた所があり現在四人収容(二人は本会会員)し、食費一人月三五〇円でトワ椅子作りを

やつて居り自下入所者を募集しているが、そ

こを本会で利用することが出来ないだろうか。

○今年度活動方針の具体策について

高垣一前の問題とも関連するが、本会と東京くるめ園ともと密接に提携したらしい

話があり、又本会にその気があれば柄木の土地を提供してもよいという話もあるし、それ

てから持ち出すべきだったが持ち出してしまった以上引っ込むわけに行かない。向うの出方によつては喧嘩になつてしまふ。結局水か

身障者施設についてと雇用促進法を実効あるようにするよう社労委の民社党議員に申し入れた(詳細別記)。

問題については更友会(センター同窓会)の要請により本会ではがき陳情を誌力することにして六月七日のバス旅行ではがき二百枚を配布。五月十三日には別府

保養所問題について自民党本部に於いて厚生省から本会へ回答があった(別記)。

以上の報告に関連質疑、磯部一六月九日

していす役員も数名しき来ていなかつたが、この陳情に対する本会の態度について事務局長をお尋ねしたい。

石橋一センター医療問題は決して我々と無縁の問題ではないので本会でも金額的

に支援することにして、七日のバス旅行でハガキを配ると同時に陳情の事を伝えた

篠情に出る人間と層が違うといふ事があ

り、また経済成長のお蔭で会員に寄せる事が出来ず、そんなこんなで人數を勤員できなかつた。

○身障者取扱施設の問題について別府保養所問題(木村浩子の問題)で

のだからもうそちらの方へ手を出しても良いだろ。それにこればかり設立方針にも合致する。

以上の結果、施設經營に積極的に取り組んで、(一)会見代表者は和田、高垣、石橋、芝、星野、篠崎、高垣、中村、山口、沢井とし山北、磯部、山口が傍聴という形で参加。

(二)問題の本人を同行する。(三)会談を今後も継続させるようにする。

○茨城の収容施設(施設)について

石橋一茨城で個人で身障者の収容施設所を始めた所があり現在四人収容(二人は本会会員)し、食費一人月三五〇円でトワ椅子作りを

やつて居り自下入所者を募集しているが、そ

こを本会で利用することが出来ないだろうか。

○今年度活動方針の具体策について

高垣一前の問題とも関連するが、本会と東京くるめ園ともと密接に提携したらしい

話があり、又本会にその気があれば柄木の土地を提供してもよいという話もあるし、それ

てから持ち出すべきだったが持ち出してしまった以上引っ込むわけに行かない。向うの出方によつては喧嘩になつてしまふ。結局水か

身障者施設についてと雇用促進法を実効あるようにするよう社労委の民社党議員に申し入れた(詳細別記)。

問題については更友会(センター同窓会)の要請により本会ではがき陳情を誌力することにして六月七日のバス旅行ではがき二百枚を配布。五月十三日には別府

保養所問題について自民党本部に於いて厚生省から本会へ回答があった(別記)。

以上の報告に関連質疑、磯部一六月九日

していす役員も数名しき来ていなかつたが、この陳情に対する本会の態度について事務局長をお尋ねしたい。

石橋一センター医療問題は決して我々と無縁の問題ではないので本会でも金額的

に支援することにして、七日のバス旅行でハガキを配ると同時に陳情の事を伝えた

篠情に出る人間と層が違うといふ事があ

り、また経済成長のお蔭で会員に寄せる事が出来ず、そんなこんなで人數を勤員できなかつた。

○身障者取扱施設の問題について別府保養所問題(木村浩子の問題)で

(山北)

レクリエーションによせて

I 記

バス旅行雑感

柳下明之

江の島が見える処まで来、目的の片瀬海岸に到着した。柔かい波が私の足にあり、清々しい感覺が私の心に伝わる。

以上の青い芝の一回レクリエーションの白土さんの文章である。それから六年、今年のバス流行はオ一回の想い出の地江の島へと向った。会報紙によると参加者四十七名と出ている。本年度のそれは百名にも及ぶ人数、六年前から思えば青い芝も發展したものである。とにかく当日は晴天、例によって新宿の雜踏は整理に当る役員運をあわてさせる。

予定より二十分遅れて光明養護学校のスクール・バス二台を連ねて出発。途中変更して鎌倉へ寄らず（時間の都合で）直行した。到着十二時三十分。海開きにはまだ約一ヶ月、海岸はもう人、人、人。

休憩所の屋上で昼食（食べてる時はみんないっ子）二時三十分まで自由行動。その間を利用して浜辺へ、島へ、はてはお土産屋へ（誰です？ ガイコツなんて買うのは）。三時江の島を後にする。

バスガイドのいない中、B・S つくし会の

人達のリードよろしく「七つの子」「こんにちわ赤ちゃん」等々楽しい一日であった。

数々の疑問改善すべき点、反省すること

等の大きなお土産を抱え乍らも…………。

先の会報で紙面不足のため止むなく没にし

た原稿から拾うと、今年度より事務費手当の

ベーゼアーフ、事務管理費等の入件費を得る

ことが出来た。しかしその趣付けとして収入

の大半を当の事務局が事業費金として漏洩し

なければならぬ。

その事業は三月頃より「ヨーロピアン民族舞踊團

の「キンタート樂團」等の酷があった。

会場その他の都合でいずれも見送つて来た

が、本年中には実施の見込みである。それに

も……と云つて毎月の役員会でも四月の

総会でもこれといった名案が生まれないのだ

が。水を親しむシーデン、恒例の通りキャンプ

日曜日は使用不可のため鎌倉へと足を運ん

だが折り合いつかず中止となつた。

支部より補助金増額の声があるが現在のと

より金費総収入十万円、この内の五割を當て

京支社より国際親善パートナー純益金五萬円を

寄贈された。

様の永眠記念として参軍万円を頂いた。又昨年に引き続いで京都女子大学同窓会東京支社より国際親善パートナー純益金五萬円を

りは個人的にはバスの中で聞いて少々はわかつたけれど、交流して行ったほうが賢明じやないだろうか、社会人なればむずかしいけれど、そこをうまく間に立つて取計らうのがいいのではないか、目的は一つなのだから。

六月七日、これはことしの青い芝の恒例のバス旅行の日です。例によって、僕も参加することにしておいた。ことは天候が不安定なために当日を気にしていたら、前の日は雨だったのに、うそのような青空。すばらしい心掛けです。

例年にもなかつた？

スケジュールについては少々無理があつた。鎌倉を見せて貰うのがと期待していたのに、素通りとは会報のノモに偽りあり、といふのは昔見たきりで、最近はなかなかその機会を得られなかつたので、残念に思えてならない。また当の僕が責任者であったのに、任務を果さなかつたこともあるけれど、その点はお詫びするとして、昼食後に一時全員集合なんて行なわずに、その担当者だけに人数を確認をさせることにすればよかつたのではないかそして責任者の選任を前に知らせてくれないのか。当日になつてほこつと言われても迷うだけではないか、事務局の繁雜なのは解るけれど、日赤奉仕団などの昔の連中は？

思つくりまゝに

そして今回参加してくれた諸君たちのつながり

五月三日青山の太田宅で、支部例会を開催致しました。

例会には、忙しい夫を皆さんが多数と、本部役員も數名出席して下さつて有難う御座いました。

議題は「青い芝の今後の行き方」石橋君と磯部君が色々とユーモアたっぷりに討議して頂きました。

中央支部は八月末にバス旅行致す事を討議致します。

中央支部便り

場所コースは東京一横浜山下公園を計画中です。支部役員山口君と磯部君が、皆様の御家庭を訪問致しますから、其の節は宣しく御願い致します。

中です。中央支部は八月末にバス旅行致す事を討議致します。

支部長 宇田川久夫

五月三日青山の太田宅で、支部例会を開催致しました。

例会には、忙しい夫を皆さんが多数と、本部役員も數名出席して下さつて有難う御座いました。

議題は「青い芝の今後の行き方」石橋君と磯部君が色々とユーモアたっぷりに討議して頂きました。

中央支部は八月末にバス旅行致す事を討議致します。

中央支部便り

場所コースは東京一横浜山下公園を計画中です。支部役員山口君と磯部君が、皆様の御家庭を訪問致しますから、其の節は宣しく御願い致します。

中です。中央支部は八月末にバス旅行致す事を討議致します。

支部長 宇田川久夫

事務局だより

いるわけです。

そうすることと、この「青い芝の会」が存続する意義がでてくるわけで、この支部例会が、六月二十八日㈯に本部事務所で開かれました。

（⤴）「バナナ」をかじりながら、気ままに包まれながら、それそれ少しは満足した面も

ちで駄菓子へとゆったり散つてゆきました。

そこで、このようなあまり苦しいとは云え

紙幣を利用して賃貸かと思ひますが、私たちはまだあらゆる面で弱い立場に置かれています。

が、いさうながしたいと思います。

支部皆さん、支部例会の有り方について

のよう考へておられますか？ ……、私は

役員は本部からの支給されます、貰い少額の

ギー代を払つて、自分たちの忙しい仕事の合間にをねづかれて利用し、支部例会の準備にたず

まわっているのであります。

それといふのは、二ヶ月一回ではあります

が、支部の皆さんがただ一回の顔合せで、親しい友だちを得るために機会をとてやります

いと思ひ、支部例会といふ形式の場を開いて

「城南支部例会便り」

いるわけです。

そうすることと、この「青い芝の会」が存続する意義がでてくるわけで、この支部例会が、六月二十八日㈯に本部事務所で開かれました。

（⤴）「バナナ」をかじりながら、気ままに包まれながら、それそれ少しは満足した面も

ちで駄菓子へとゆったり散つてゆきました。

そこで、このようなあまり苦しいとは云え

紙幣を利用して賃貸かと思ひますが、私たちはまだあらゆる面で弱い立場に置かれています。

が、いさうながしたいと思います。

支部皆さん、支部例会の有り方について

のよう考へておられますか？ ……、私は

役員は本部からの支給されます、貰い少額の

ギー代を払つて、自分たちの忙しい仕事の合間にをねづかれて利用し、支部例会の準備にたず

まわっているのであります。

それといふのは、二ヶ月一回ではあります

が、支部の皆さんがただ一回の顔合せで、親しい友だちを得るために機会をとてやります

いと思ひ、支部例会といふ形式の場を開いて

「城南支部役員一同」

重症心身障害児を守る会大會開かる

六月十三日全国重症心身障害児（者）を守る會の大會が、港区の発明館で十時一十八時迄行われた。

一部 開会の挨拶 経過報告 会則案討議

二部 役員承認 代表者要望

三部 厚生大臣 文部大臣 両院議員始め
来賓挨拶 懇親会

この会の正会員は重症心身障害児（者）をもつ父兄と、その代る者としている。

会長 北浦真夫氏 副会長 丹羽正治氏

主 呂苗氏、あと関西から一名だが未決定

名 会計監査二名の役員が決定した。

二部の大臣方の御言葉は、激励にすぎなかつた。

スローガン

一、重症心身障害児のための特別立法制定

二、療育施設等の新設および拡充

三、障害児対策の年金制限撤除

四、施設職員の待遇改善および職員の確保

五、在宅障害児（者）の指導制度確立

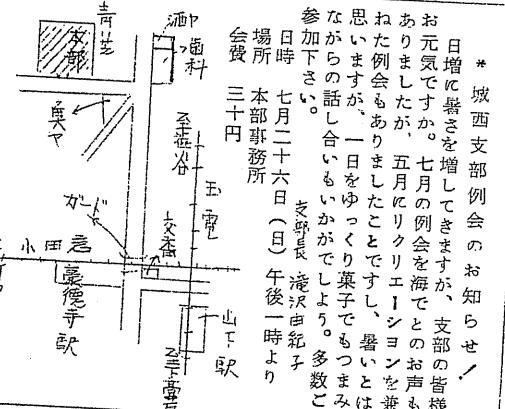
六、重症心身障害児（者）の經濟的保障制度確立

会長北浦氏は「初めてなのでわかりませんが、皆さんの要望に少しでも応答出来る様に

目的に向って邁進して行きたい」と申された。

私達もこの会の発展を皆さんと見守って行きたいと思ふ。

新 入 会 員
池内敏夫 江東区新大橋一六
柏 勢伊子 新大橋アパート四一〇
大谷正美 八王子市台町三一一二四
宮本光一 宮城県石巻市寿町五八
渡辺省三 江戸川区東篠崎三〇一四
山岸和子 川崎市南加瀬二一二四
島野信子 豊島区西巣鴨一三二七七
森下叔彦 R一三一十八
練馬区仲町三一七七一五
七 棟 の 三
横浜市磯子区汐見台三一三
千葉県館山市新井一三二四
杉山方
小平市鈴木町一一〇四
北多摩郡久留米町前沢一五三四
秋山和明 東京久留米園内
山田一郎 大宮市日進町一
松井 仁 千葉市大宮町一〇五号
大宮市日進町一
農業機械化研究宿舎
伊藤先生方 四二九・〇八六九
社会福祉事業団体 恵泉女子短大寮内
日本脳性マヒ者協会 青い芝の会



- 10 -

* 城西支部例会のお知らせ！
日増に暑さを増してきますが、支部の皆様お元気ですか。五月の例会を海でのお声もありました。五月にリクリエーションを兼ねた例会もありましたことですし、暑いときはながらの話話し合いもいかがでしよう。多数ご参加下さい。支那支那 滝沢由紀子
思いますが、一日をゆっくり葉子でもまみながらの話話し合いもいかがでしよう。多数ご参加下さい。

日時 七月二十六日（日）午後一時より
場所 本部事務所
会費 三十円

会報をより良い物にして行きたいと、思いますから、一層協力をお願い致します。

次回の原稿は八月二十日〆切り。

支那支那 滝沢由紀子

今日は「別保養所問題」を所内の話題や役員会報告始め身連絡、レクリエーションなど報告ばかりになりました。支那支那便りは紙面の都合により一部省略したのもと会員の声を反映したいので、ユーモアにとんだ意見、感想などをお寄せ下さい。又、ご家庭の方の声もお寄せ下さい。



39・9・15
印 責編集者 広 報 部
刷 三誠社 三〇〇・八八〇九

開催

チャリティ・ショウ

左記のとおり本年度の会の財政をおきなう

チヤリティ・ショウを実施します。

一、出しもの 全音プロによるミュージカル・コメディ。

出演者は楠トシユ・榎本健一等

一、日 時 十一月五日（木）を中心として

一、入場料 五〇〇円

- 1 -

石 橋 知 二

この間、会にとつてはその動向を左右する

ようないくつかの現象がおこっています。

その最大のものとして、我々脳性マヒとい

ゆる心身障害者との連携が急速に社會全般に拡がっていることです。

元々我々の病名は「脳」という字がつく

上に、懶散その他の誤解されやすいのは云

うまでもありません。

その上に水上勉、城戸礼等のマスコミに強

力な発言力を持ち、その人々のネガティブな人々の我々に対する先入感となつて現われて來ています。

こうした我々に対する誤った見方は、勿論もつと基本的な障害となりつゝあるも

我々はこれからも社會へのPRを強化し

力に対する世間のあやまつた考え方を

一掃しなければならないと思います。

我々役員は云うまでもなくこうした会の前進をはゞむものに対して強い反撃の態勢を整え全員力を結してスクラムを組みましょ

す。



昨年同様みなさまの御協力を切望いたしま